

2013年 6月期末

決算 説明会

1. 決算の概要	3
2. セグメント別の状況	16
3. 2014年6月期見通し	23
4. 中長期的視野に立った経営方針	31
5. 事業TOPICS	49

【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

1

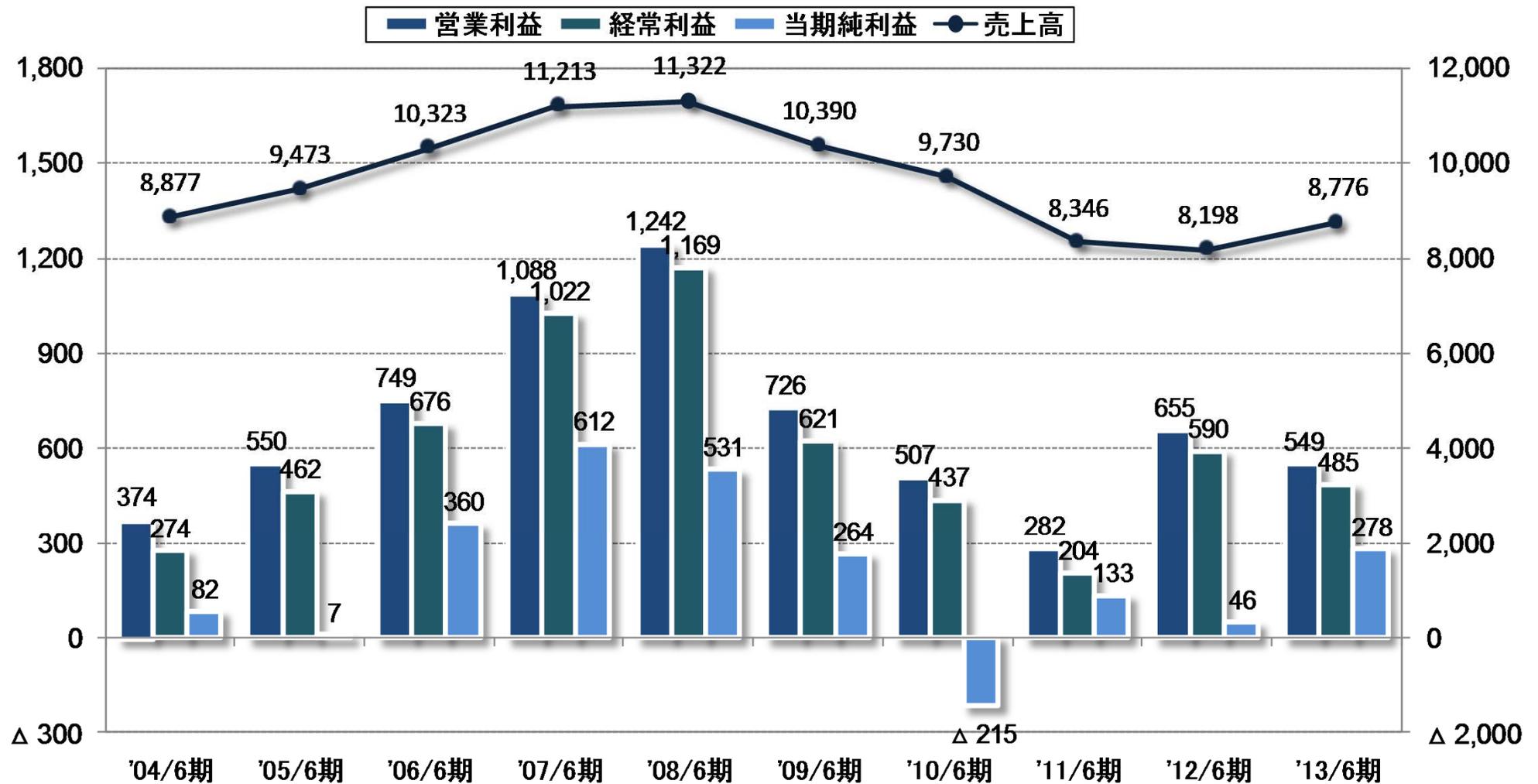
決算の概要

(単位:百万円)

	'12/06期	'13/06期		対計画増減額 (増減率)	対前期増減額 (増減率)
		計画※	実績		
売上高	8,198	9,000	8,776	△223 (△2.5%)	578 (7.1%)
営業利益	655	750	549	△200 (△26.7%)	△106 (△16.2%)
経常利益	590	670	485	△184 (△27.5%)	△104 (△17.7%)
当期純利益	46	360	278	△81 (△22.6%)	232 (503.7%)
配当金	@14円/株	@20円/株	@20円/株		

※計画につきましては2012年8月13日付にて発表した業績予想の値を表示しております。

過去の業績推移

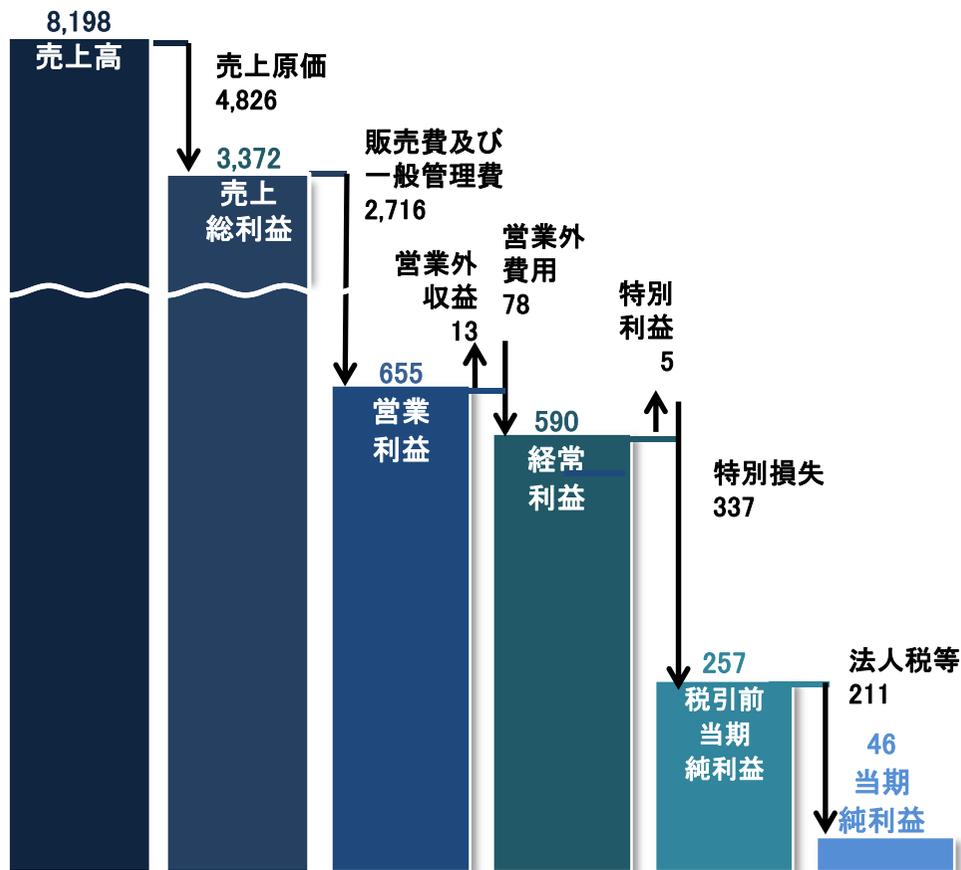


(単位:百万円)

	'12/6期	'13/6期	対前期増減額
売上高	8,198	8,776	578
売上原価	4,826	4,787	△39
売上総利益 (売上総利益率)	3,372 (41.1%)	3,989 (45.5%)	617
販売費及び一般管理費	2,716	3,440	723
営業利益 (営業利益率)	655 (8.0%)	549 (6.3%)	△106
営業外損益	△65	△63	1
経常利益 (経常利益率)	590 (7.2%)	485 (5.5%)	△104
特別損益	△332	0	332
税引前当期純利益	257	485	227
法人税等	211	206	△4
当期純利益 (当期純利益率)	46 (0.6%)	278 (3.2%)	232

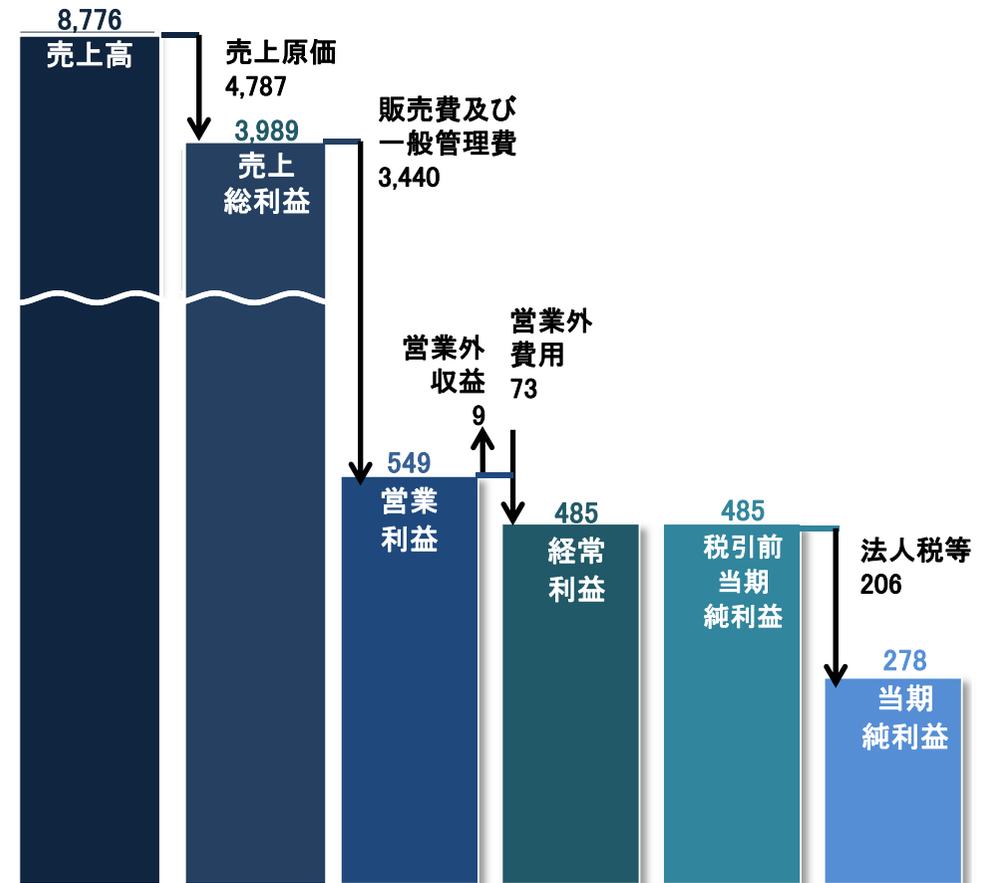
損益の状況

2012年6月期



2013年6月期

(単位:百万円)



■ 売上高、当期純利益が前期に比べ増加

貸借対照表ハイライト

(単位:百万円)

	'12/6期	'13/6期	対前年同期 増減額
流動資産合計	2,594	2,771	177
現金・預金	551	380	△170
売掛金	1,034	1,227	193
仕掛品	373	431	57
固定資産合計	6,802	7,035	233
投資その他の資産	768	1,053	285
資産合計	9,396	9,807	411

	'12/6期	'13/6期	対前年同期 増減額
負債合計	5,615	6,127	511
流動負債	3,515	4,127	611
短期借入金 [※]	2,425	1,900	△525
固定負債	2,100	1,999	△100
長期借入金	785	609	△175
純資産合計	3,780	3,680	△100
負債・純資産合計	9,396	9,807	411

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

2012年6月期B/S

総資産: 9,396

流動資産 2,594 現・預金 551 売掛金 1,034 仕掛品 373	流動負債 3,515 短期借入金 1,380 一年内 長期借入金 1,045 前受金 364 未払費用 98
固定資産 6,802 投資有価証券 96	固定負債 2,100 長期借入金 785
	純資産 3,780 利益剰余金 1,972 自己株式 -243

2013年6月期B/S

総資産: 9,807

流動資産 2,771 現・預金 380 売掛金 1,227 仕掛品 431	流動負債 4,127 短期借入金 1,290 一年内 長期借入金 610 前受金 761 未払費用 430
固定資産 7,035 投資有価証券 304	固定負債 1,999 長期借入金 609
	純資産 3,680 利益剰余金 2,165 自己株式 -542

有利子負債
3,268

有利子負債
2,548

**借入金の減少により
有利子負債が大幅に圧縮**

資産の変化(411百万円)

● 流動資産の増加(177百万円)

現金及び預金の減少	(△170百万円)
売掛金の増加	(193百万円)
仕掛品の増加	(57百万円)

● 固定資産の増加(233百万円)

投資有価証券の増加	(208百万円)
-----------	----------

負債の変化(511百万円)

● 流動負債の増加(611百万円)

短期借入金の減少	(△90百万円)
前受金の増加	(397百万円)
未払費用の増加	(332百万円)

● 固定負債の減少(△100百万円)

長期借入金の減少	(△175百万円)
----------	-----------

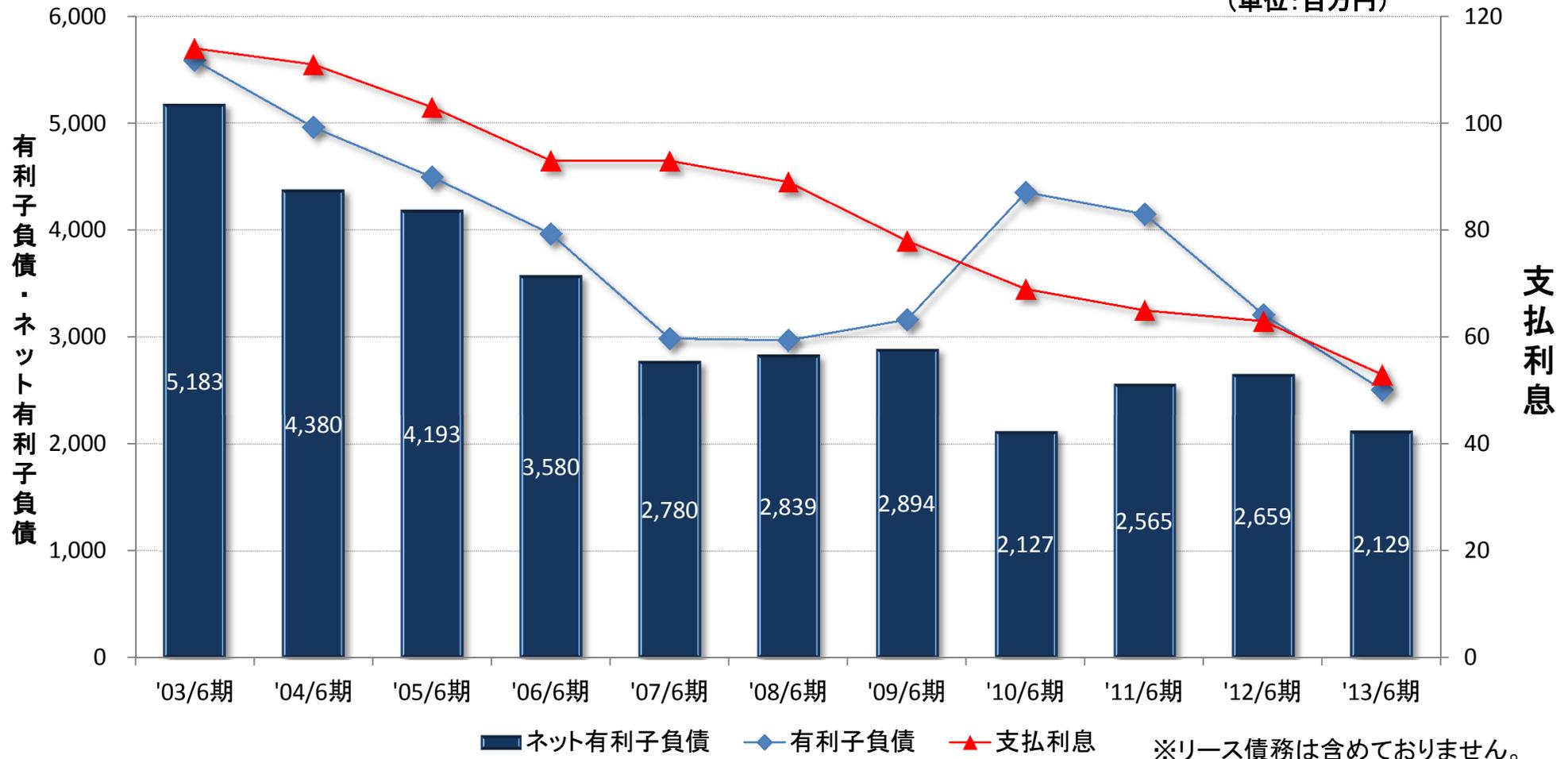
純資産の変化(△100百万円)

利益剰余金の増加	(193百万円)
自己株式の増加	(△298百万円)

ネット有利子負債と支払利息の推移

ネット有利子負債と支払利息の推移

(単位:百万円)

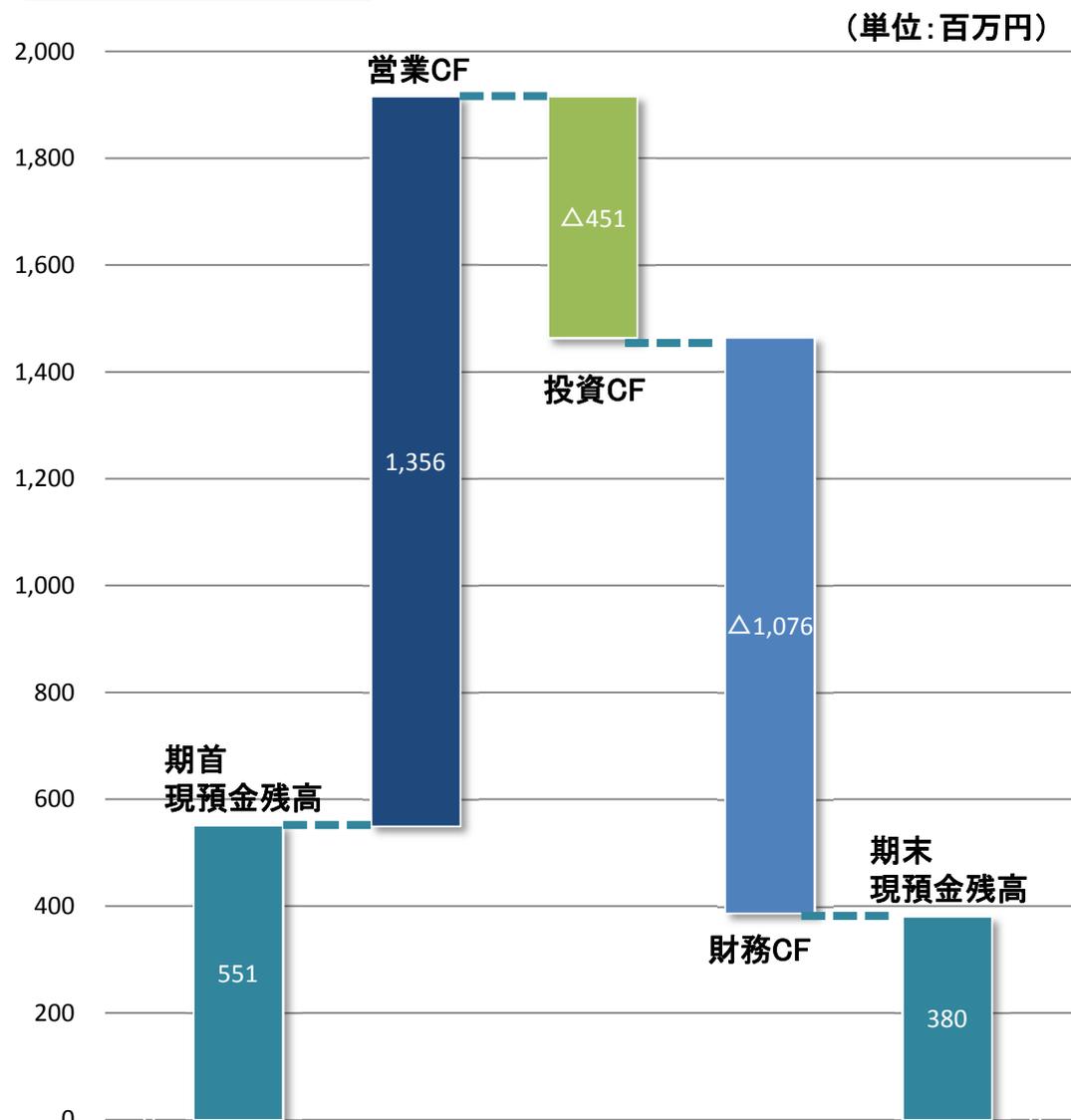


キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'12/6期	'13/6期
期首現預金残高	1,584	551
営業活動CF	162	1,356
投資活動CF	△161	△451
フリー・キャッシュ・フロー	0	905
財務活動CF	△1,033	△1,076
期末現預金残高	551	380

2013年6月期C/F



営業CF (1,356百万円)

- 税引前当期純利益 485百万円
- 減価償却費 243百万円
- 売上債権の減少額 200百万円
- たな卸資産の増加額(△) △56百万円

投資CF (△451百万円)

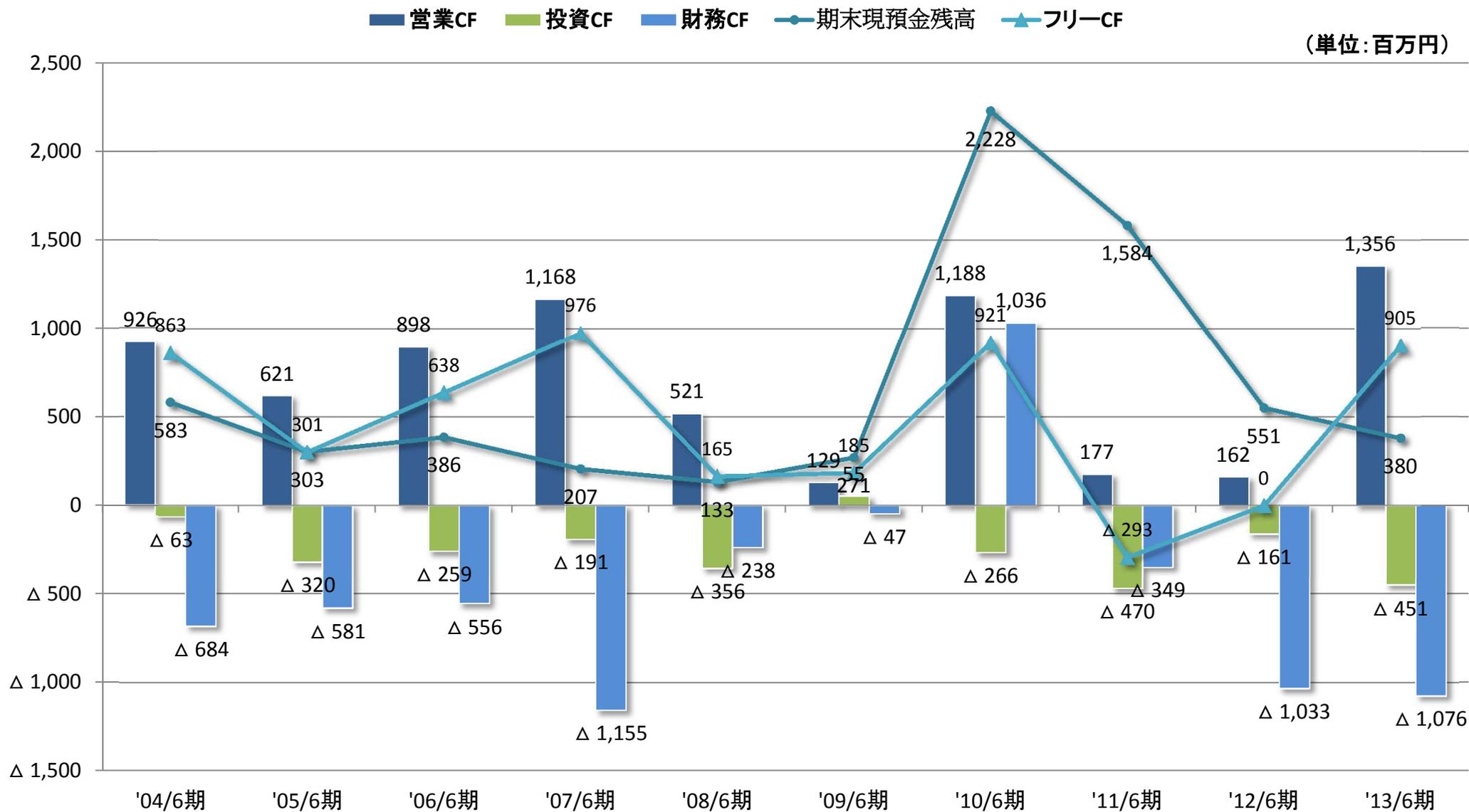
- 関係会社株式の取得 △200百万円
- 無形固定資産の取得 △140百万円

財務CF (△1,076百万円)

- 短期借入金の純減 △90百万円
- 長期借入金の純減 △610百万円

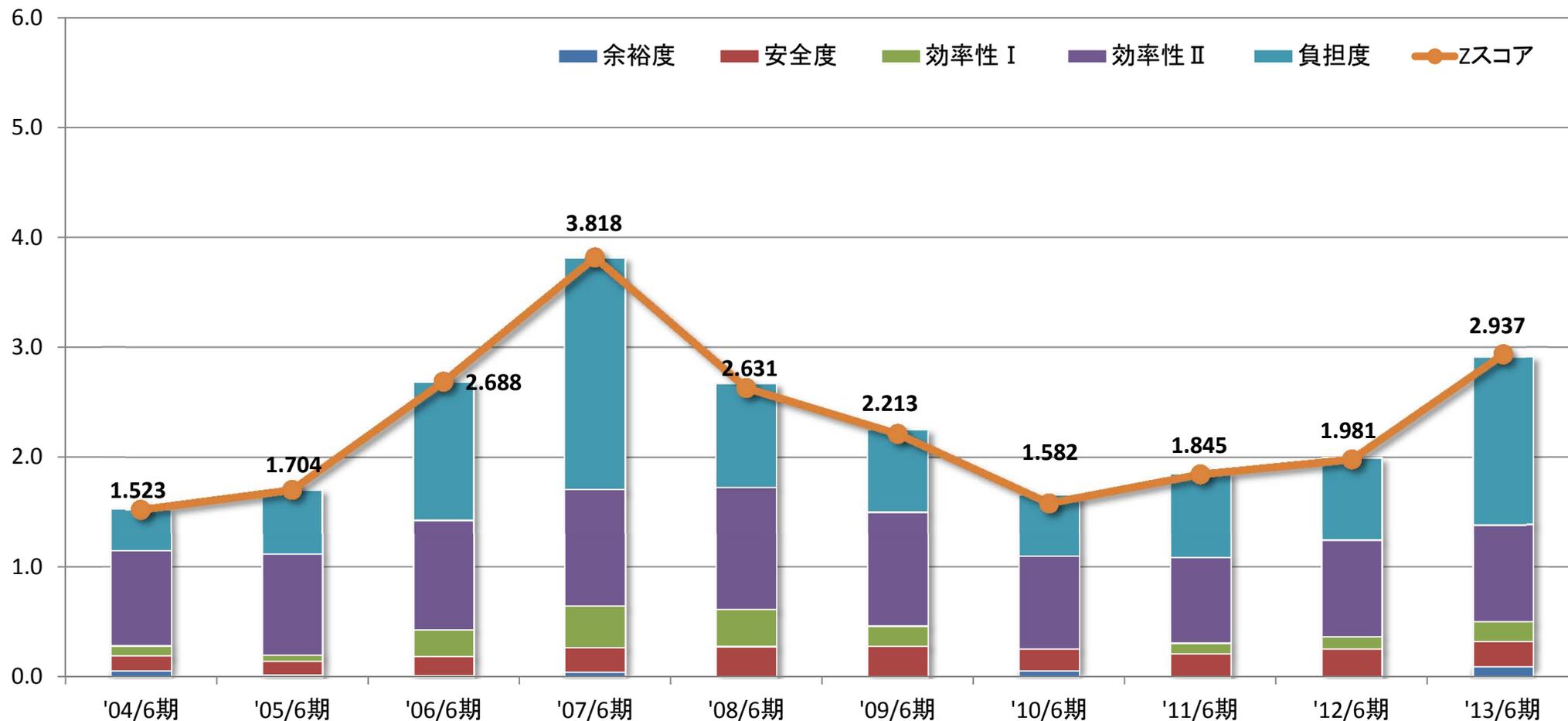
フリー・キャッシュ・フロー 905百万円(前年同期 0百万円)
インタレスト・カバレッジ・レシオ 26.4倍(前年同期 2.7倍)

過去10年間のキャッシュ・フローの状況

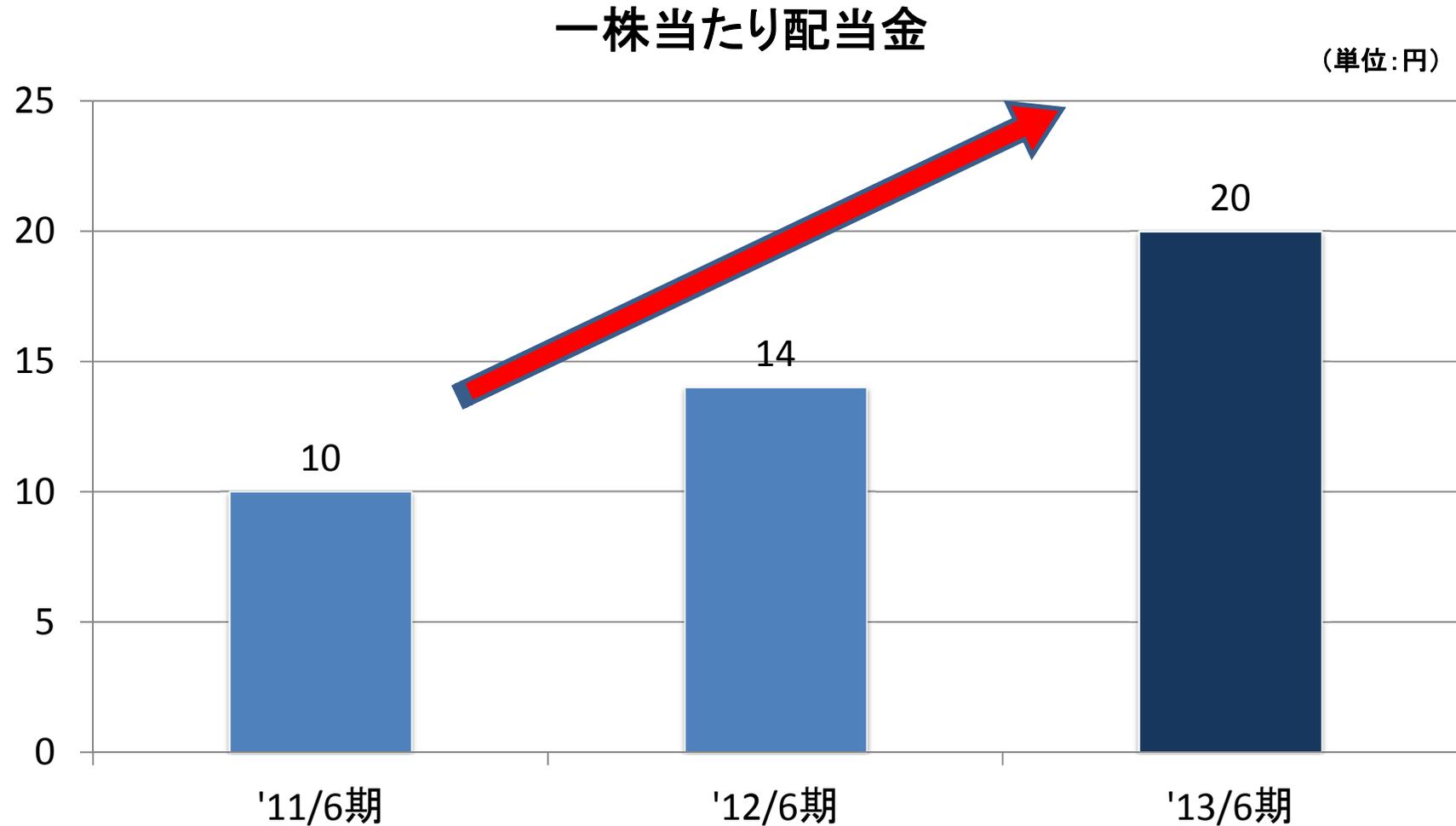


Zスコアの推移（'04/6期～'13/6期）

Zスコアの推移('04/6期～'13/6期)



一株当たり配当金の推移（'11/6期～'13/6期）

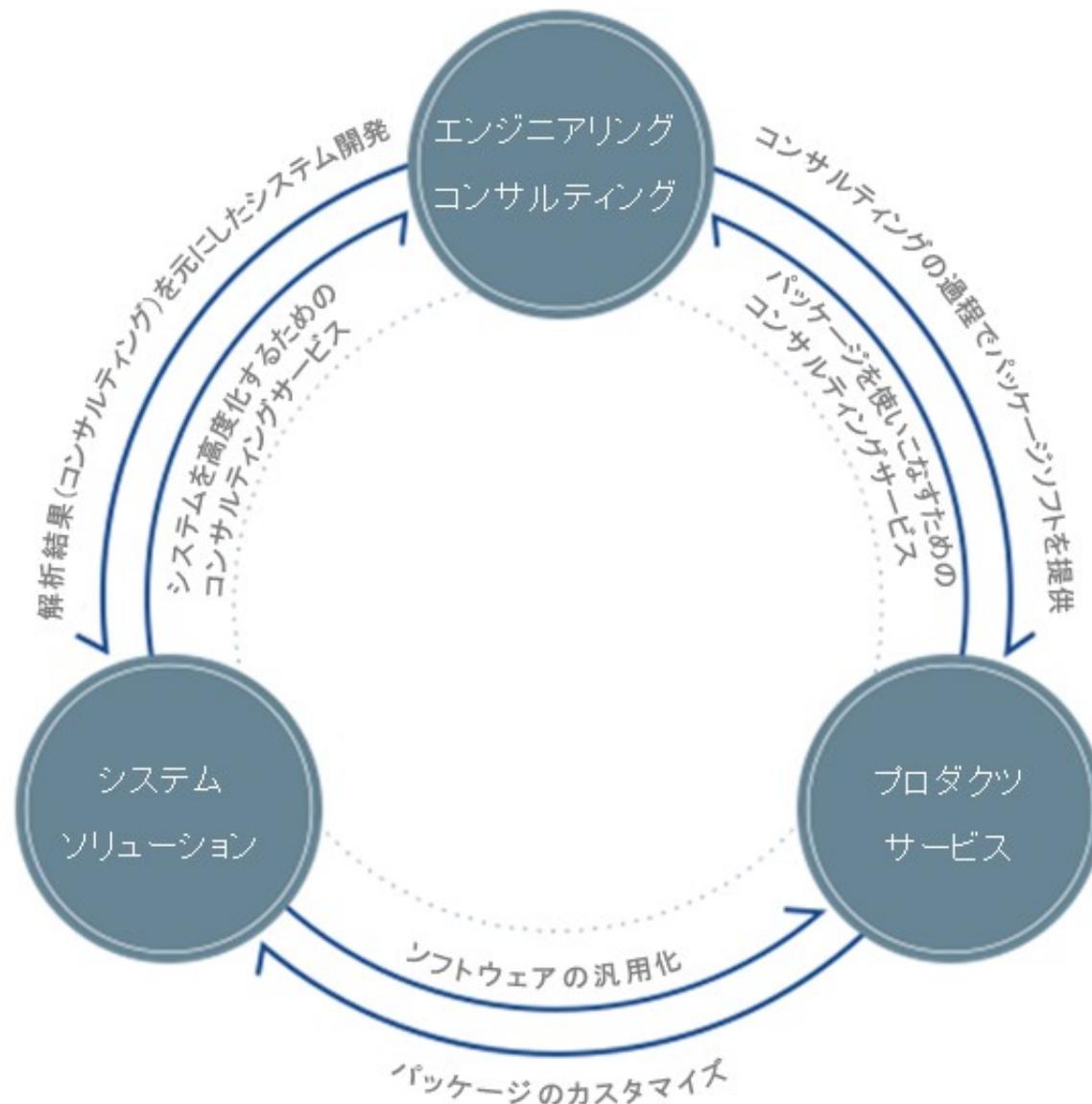


※当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。

2

セグメント別の状況

3つの事業セグメントによるシナジー



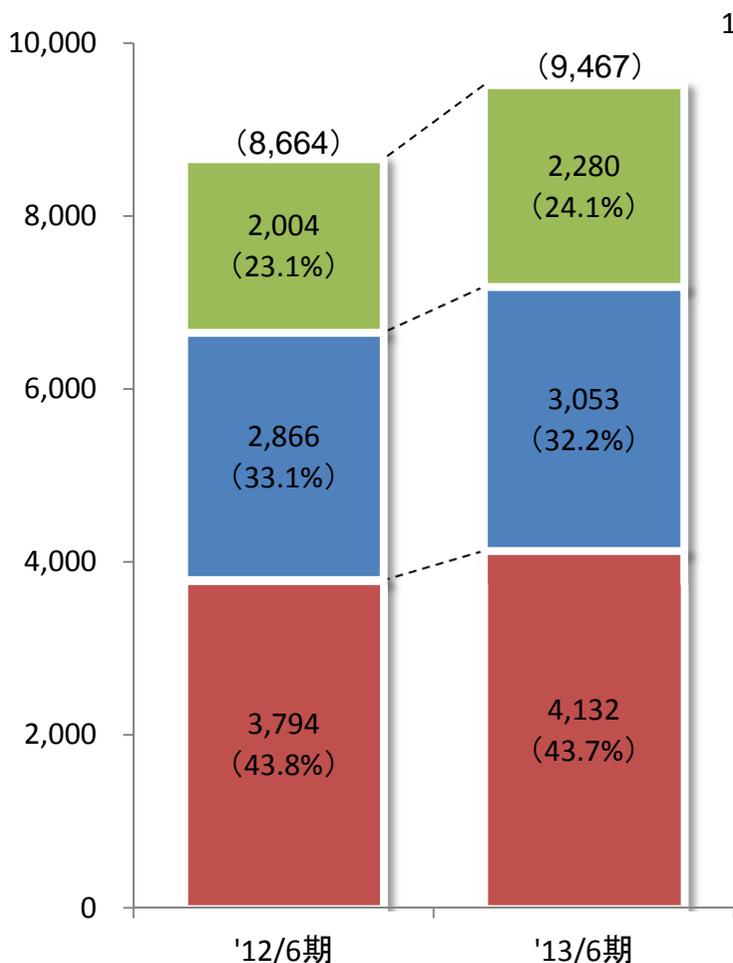
セグメント別の状況

(単位:百万円)

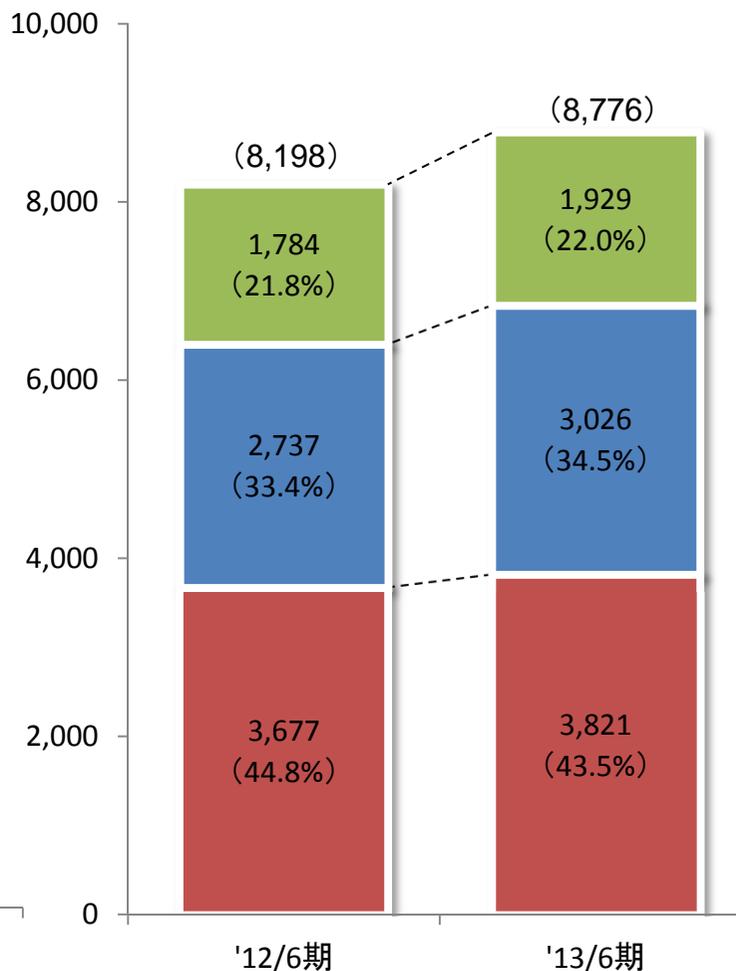
事業	事業内容	売上高構成	
		'12/6期	'13/6期
エンジニアリング コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> □ 防災・耐震・環境評価解析コンサル □ 建築物の構造設計 □ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討 □ 製造・物流系シミュレーション □ マーケティングコンサル、リスク分析 □ マルチエージェントシミュレーション 	3,677 (44.8%)	3,821 (43.5%)
システム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> □ 構造設計支援システム □ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム □ バス運行関連ソリューションシステム □ 製造業向け営業・設計支援システム □ 最適化・物流システム 	2,737 (33.4%)	3,026 (34.5%)
プロダクツ サービス	<ul style="list-style-type: none"> □ 建設系構造解析・耐震検討ソフト □ ネットワークシミュレーションソフト □ 電波伝搬・電磁波解析ソフト □ 製造系設計者向けCAEソフト □ マーケティング・意思決定支援ソフト □ 統計解析ソフト、画像認識ソフト □ コンサルティング □ 教育・トレーニング 	1,784 (21.8%)	1,929 (22.0%)
合 計		8,198 (100.0%)	8,776 (100.0%)

セグメント別受注高・売上高・受注残高の状況

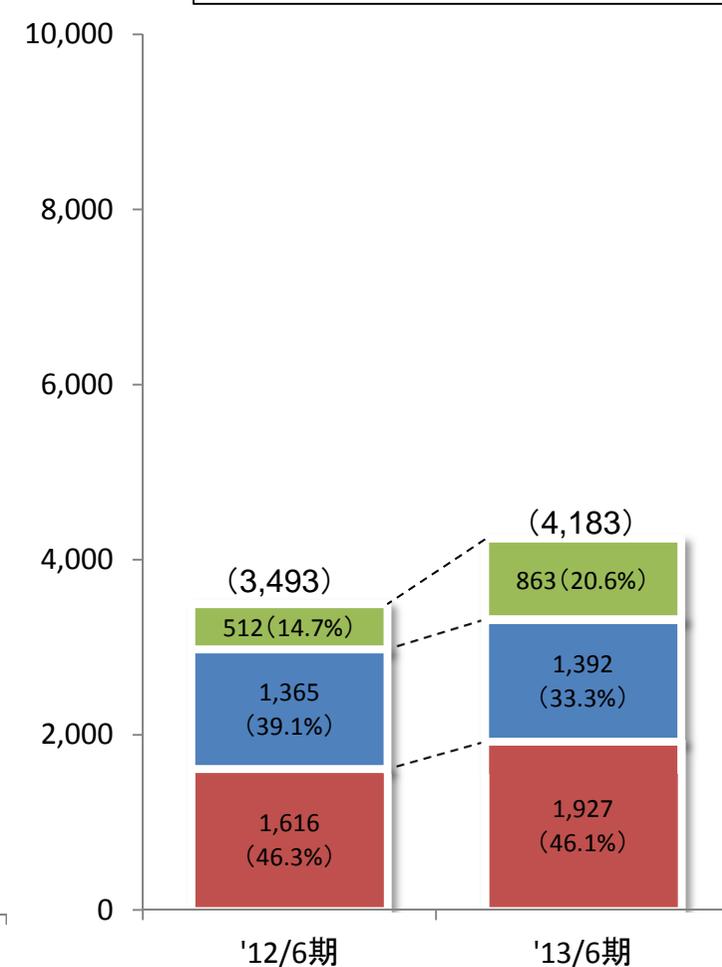
- エンジニアリングコンサルティング
- システムソリューション
- プロダクツサービス



受注高(単位:百万円)



売上高(単位:百万円)



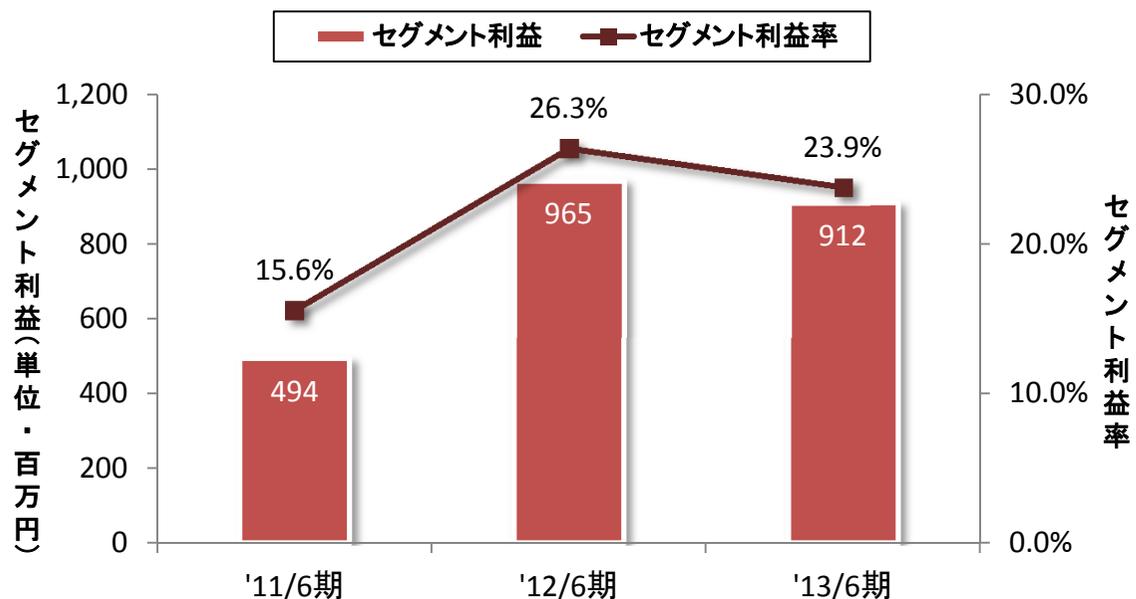
受注残高(単位:百万円)

セグメント①エンジニアリングコンサルティング

(単位:百万円)

	'11/6期	'12/6期	'13/6期	前期比 増減率
受注高	3,516	3,794	4,132	8.9%
売上高	3,159	3,677	3,821	3.9%
セグメント利益 (利益率)	494 (15.6%)	965 (26.3%)	912 (23.9%)	△5.5%
受注残高	1,499	1,616	1,927	19.2%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサル
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサル、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション



業績分析

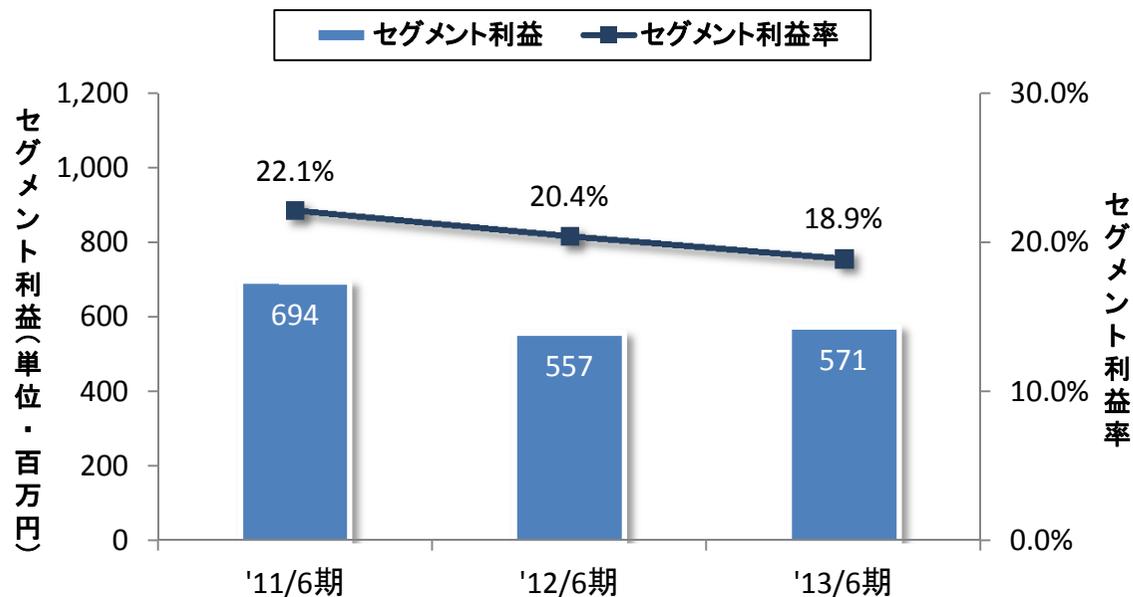
- 防災・耐震関連の解析コンサルティング業務が好調
- 建築構造設計業務の大型案件が増加

事業②システムソリューション

(単位:百万円)

	'11/6期	'12/6期	'13/6期	前期比 増減率
受注高	3,156	2,866	3,053	6.5%
売上高	3,147	2,737	3,026	10.6%
セグメント利益 (利益率)	694 (22.1%)	557 (20.4%)	571 (18.9%)	2.5%
受注残高	1,235	1,365	1,392	2.0%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ バス運行関連ソリューションシステム
- ◆ マルチメディアソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ 最適化・物流システム



業績分析

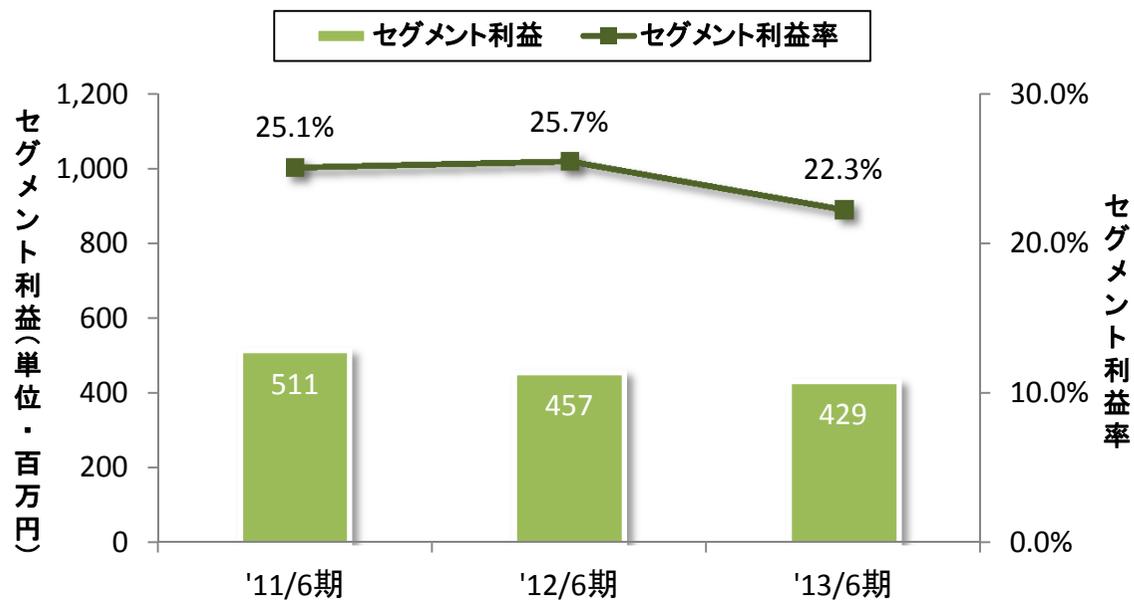
- 大手住宅メーカー向けのシステム開発業務が好調に推移
- 住宅設備メーカー向け及び大手通信キャリア向けのシステム開発業務が堅調

事業③プロダクツサービス

(単位:百万円)

	'11/6期	'12/6期	'13/6期	前期比 増減率
受注高	2,043	2,004	2,280	13.8%
売上高	2,039	1,784	1,929	8.1%
セグメント利益 (利益率)	511 (25.1%)	457 (25.7%)	429 (22.3%)	△6.1%
受注残高	292	512	863	68.6%

- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング
- ◆ 教育・トレーニング



業績分析

- 統合型粒子法流体解析ソフト、リスク分析・意思決定支援ソフト、建築構造解析プログラムの販売が堅調に推移
- プロダクツ販売のみならず、コンサルティング、教育・トレーニングが売上に貢献

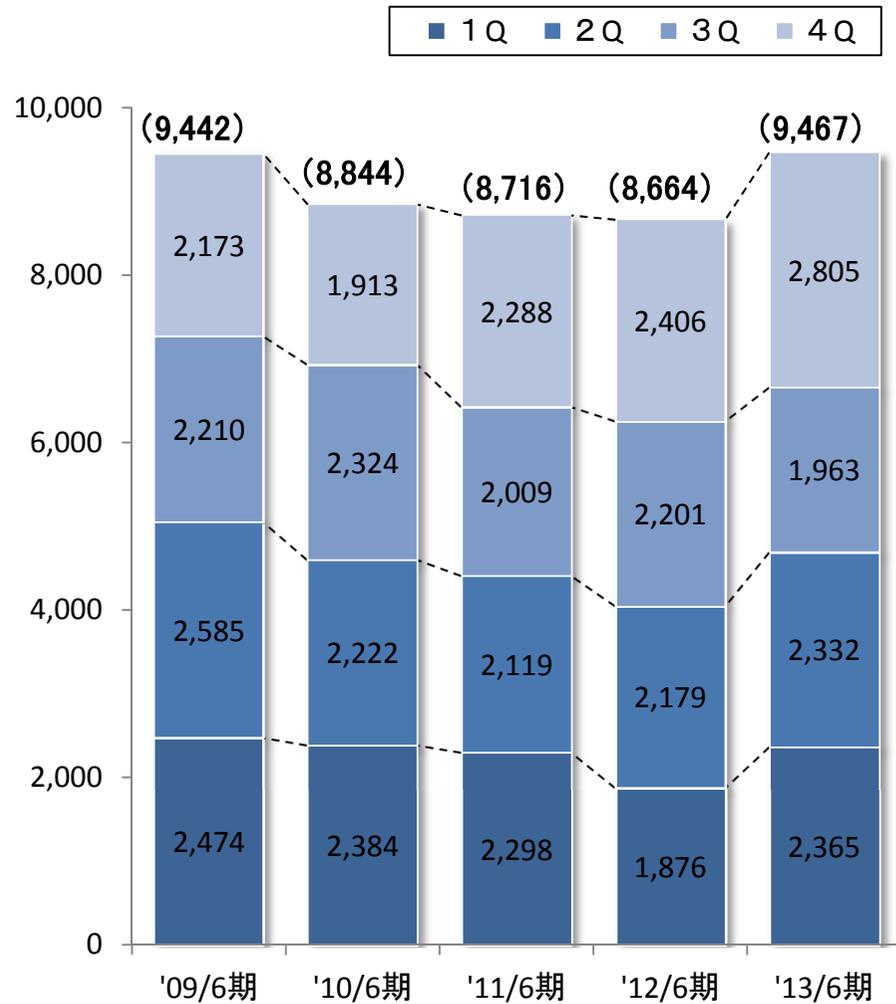


3

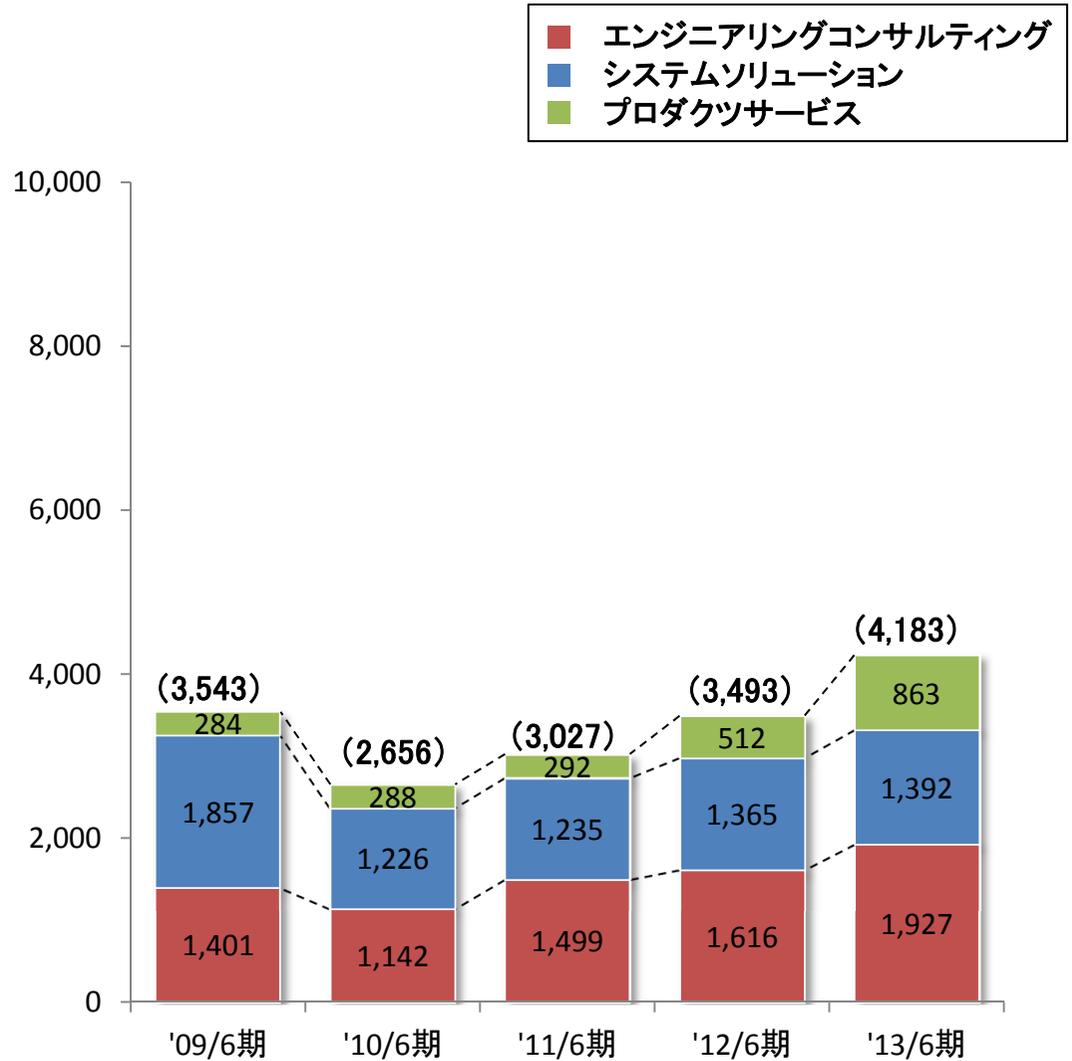
2014年6月期見通し



受注高実績と期末繰越受注残高



受注高(単位:百万円)



受注残高(単位:百万円)

- ・経済環境 ⇒ 回復の兆しが見られるも、依然として楽観視できない状況
- ・当社の対面業界 ⇒ 先行き不透明な状況は否めない



品質管理の徹底による強固な収益構造の構築

- 全事業における最終成果品の品質確保
- 受注段階での見積精度の向上および選別受注



独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大

- エンジニアリングの原点への回帰
- 付加価値の高いビジネスへのシフト



経営資源の拡充

- 海外を含めた多種多様な企業との対等なアライアンスの推進
- プロフェッショナルの採用と育成



高い顧客満足度
&
付加価値の向上

- 品質保証センターによる組織的な品質管理体制の構築
- 社内管理体制の維持強化
- 所員の技術向上支援

品質保証センターの設置

- 全ての事業における最終成果品の品質向上および確保
- 営業提案段階から最終工程までの各プロセスごとの品質管理を徹底

社内管理体制の維持強化

- 機密情報の厳密な取扱い
- 社員へのコンプライアンス意識向上教育

所員の技術向上支援

- プロジェクトの品質を確保するための教育支援
- プロジェクトの付加価値を向上させるための教育支援

重点施策 ②エンジニアリングコンサルティング領域の拡大

構築物

建築構造物の耐震・制振・免震検討

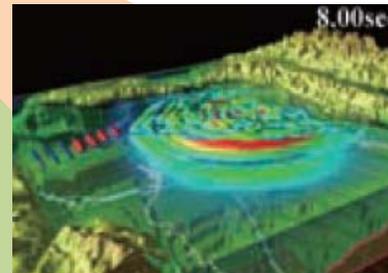


風力発電所の構造解析



自然・環境

地震動伝搬解析



津波解析



液状化解析



自然・環境

地震動伝搬解析
洪水・津波解析
液状化解析
土砂災害の影響検討

構築物

建築構造物の耐震・制振・免震検討
3次元免震装置
橋梁の耐震評価
ダム耐震解析
風力発電所の構造解析

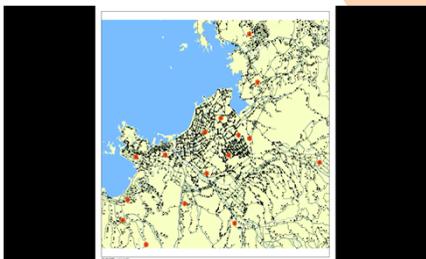
社会・企業・コミュニティ

災害避難シミュレーション
意思決定支援
人流計測行動分析

データ分析
環境測定・エネルギーモニタリングシステム
インフラ施設の予防保全

社会・企業・コミュニティ

津波避難シミュレーション



エネルギーモニタリング測定



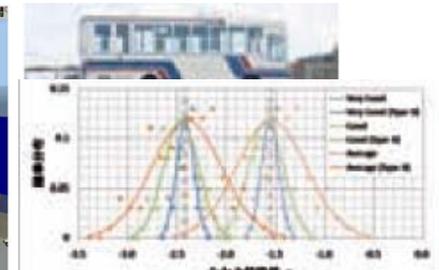
スマートシティ



スマートモビリティ



インフラ施設の予防保全



アライアンスの推進

- 独立系の利点を活かしつつ、大学・研究機関や独自技術を持つ海外を含めた多種多様な企業との対等なアライアンスの推進

人材の採用

- グローバルビジネスに対応できる優秀な人材の採用

人材の育成

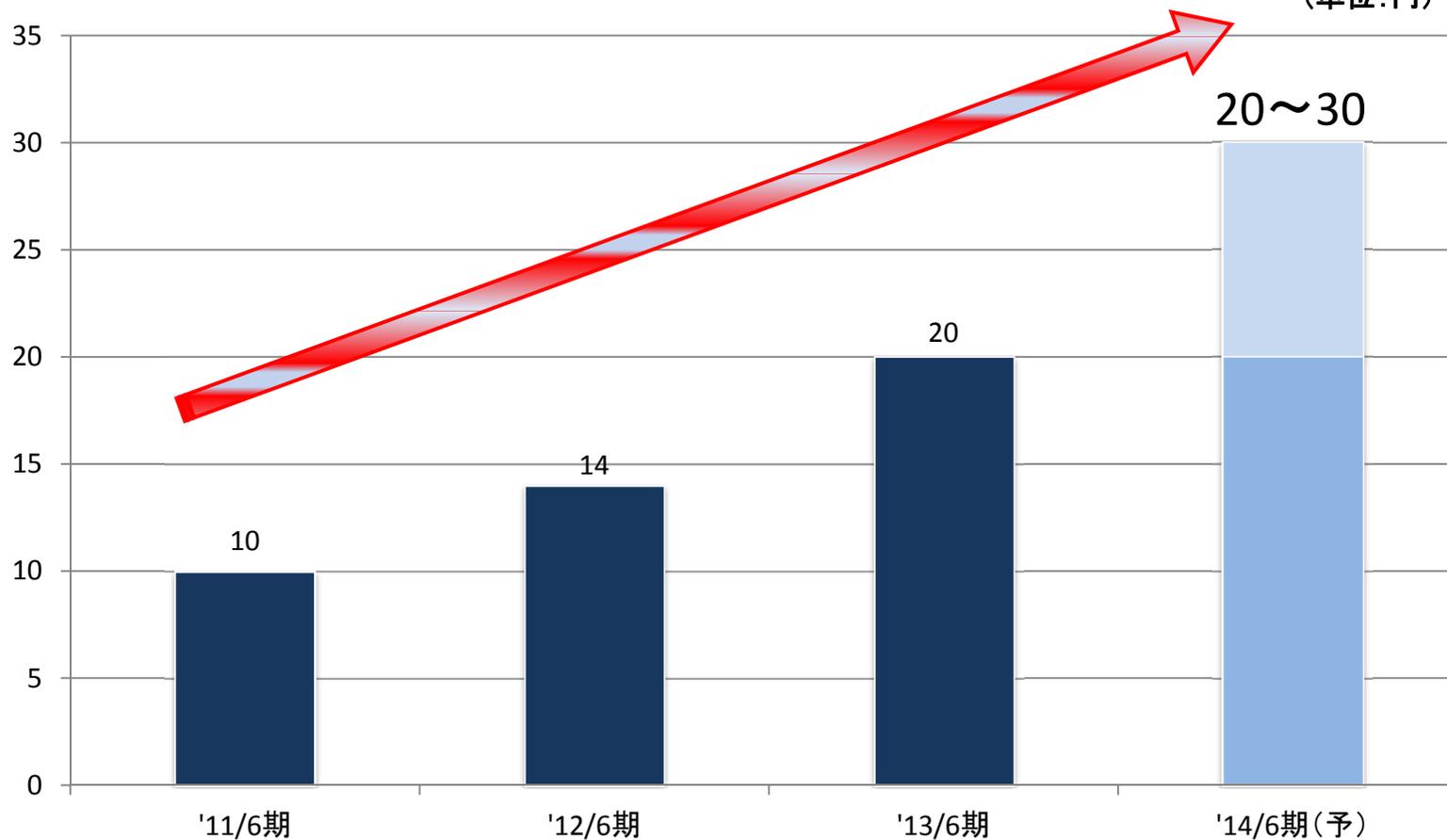
- エンジニア、マネジャー、マーケター等、経済環境の変化に適時適切に対応できる多種多様なプロフェッショナルの育成

- 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識
- 経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針とする。
- 毎期の配当については、上記基本方針のもと、配当可能額の水準を勘案し決定する。

一株当たり配当金予想（'14/6期）

一株当たり配当金予想

（単位：円）



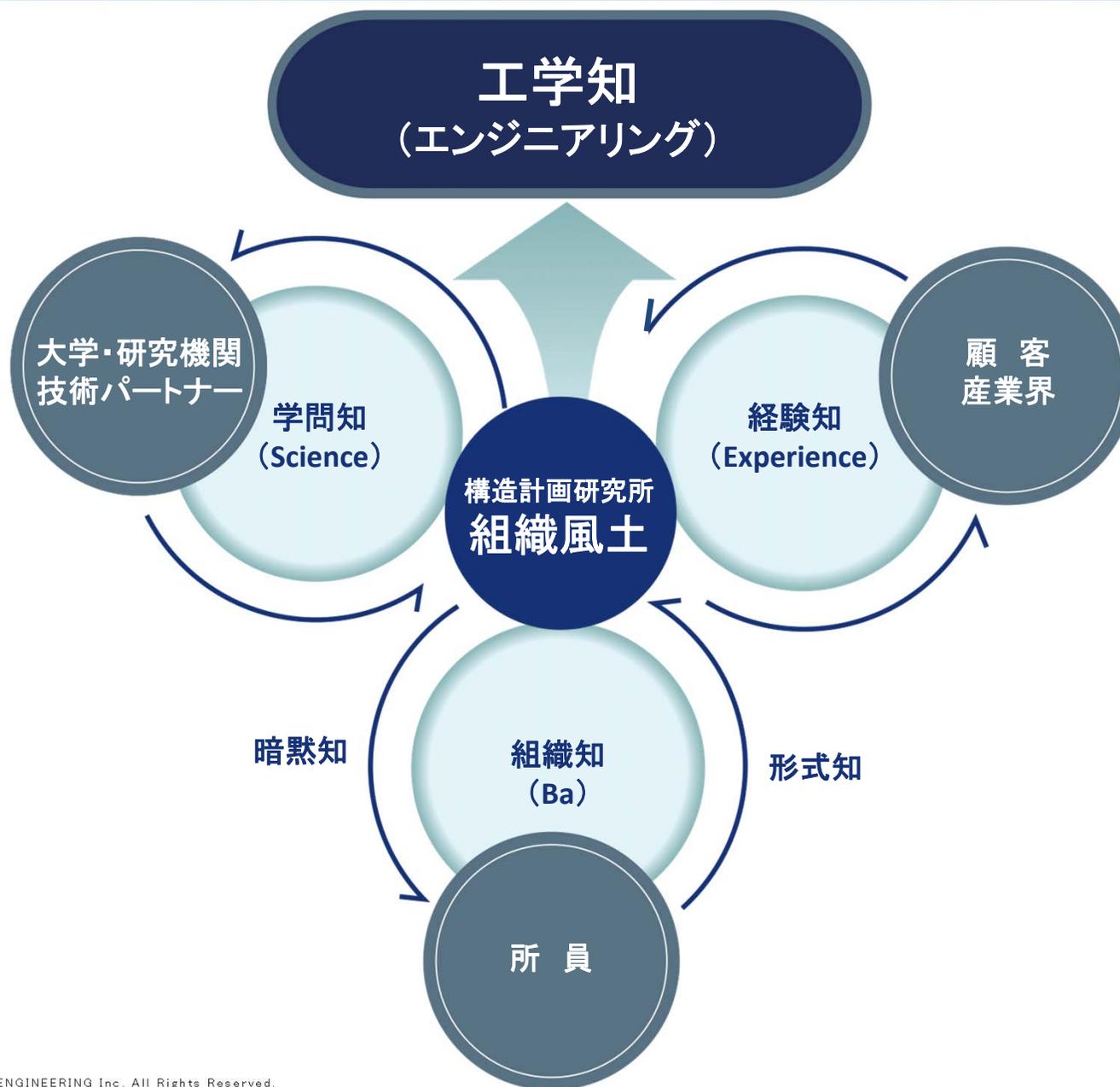
※当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。

4

中長期的視野に立った経営方針

Professional Design & Engineering Firm

学問知と経験知による知の循環から
生み出される、工学的手法に立脚した
ユニークな解決策(ソリューション)を
提供することによって高付加価値を
実現する組織



- 1** 閉じこもらない「 *Collaboration* 」
社内、社外のパートナーとの提携！
- 2** PDCAを糧にする「 *Feedback* 」
失敗経験も組織の力に活かす！
- 3** 情報技術の進化に負けない「 *Speed* 」
組織メンバーがスピードのある行動を！

付加価値を向上させるための5つの「I」

I ntelligent

知を対価とするビジネスと社会貢献

I ndependent

何にもとらわれない自由な発想のできる場の設定

I nterdisciplinary

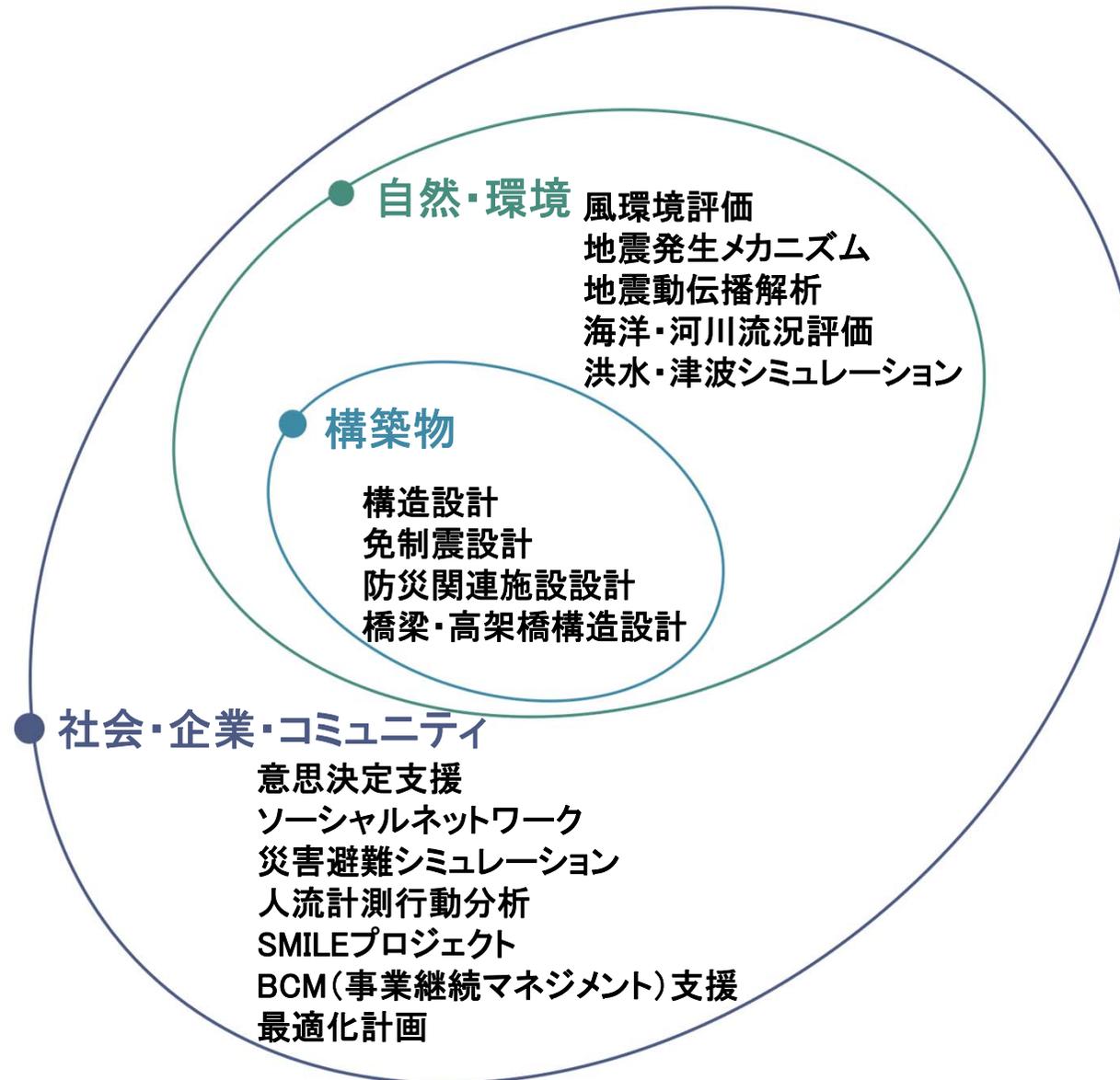
多様な学問分野の組み合わせ、融合

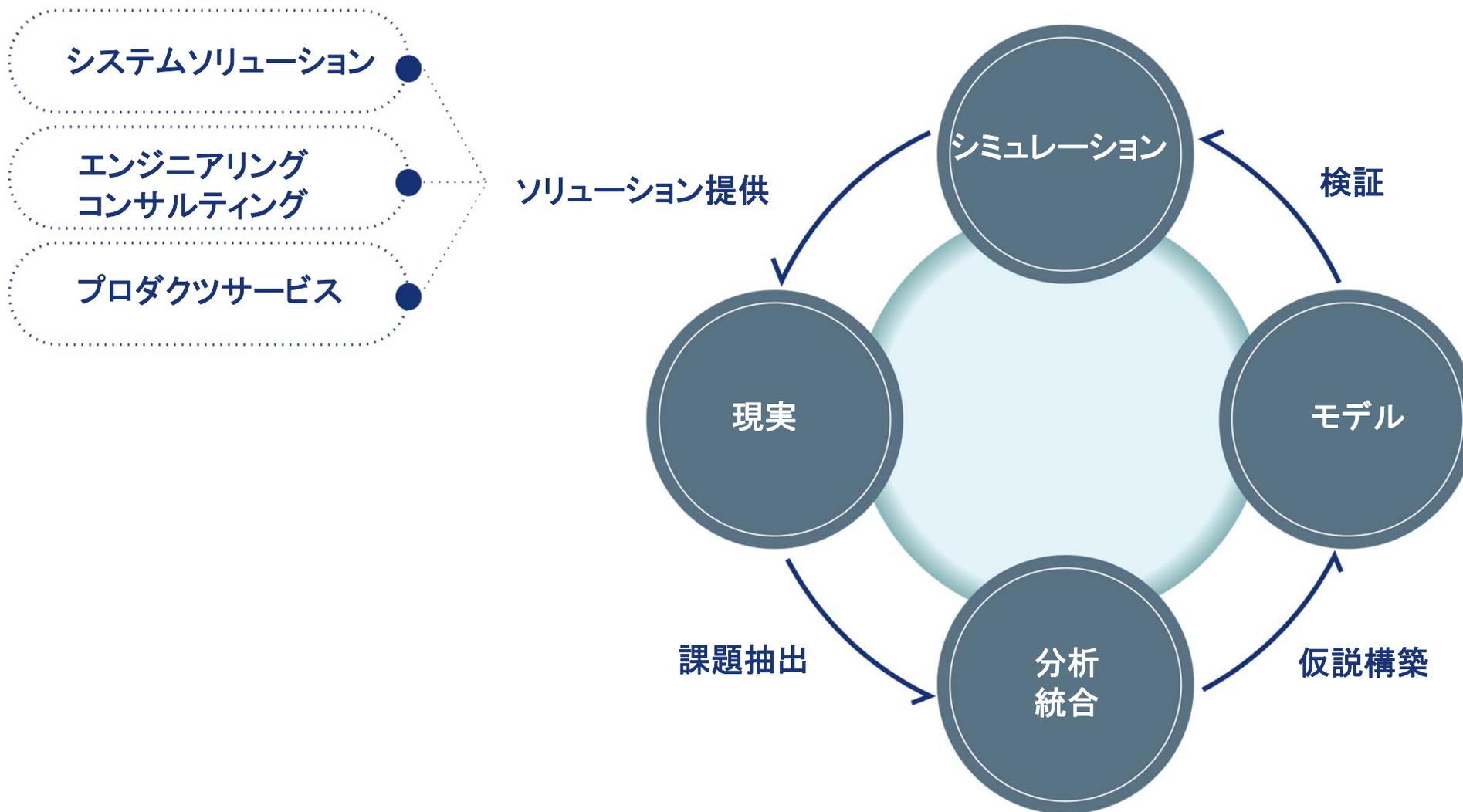
I nnovative

常に新しい事に対して挑戦する気概 風土 DNA

I nternational

異なる知を持つ海外パートナーとの連携







付加価値成長のシナリオ

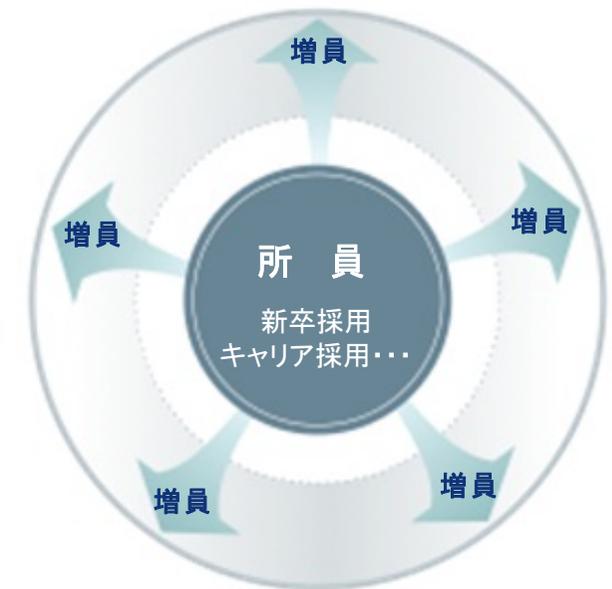
1. 「事業開拓投資」による付加価値成長



2. 「所員の成長」による付加価値成長



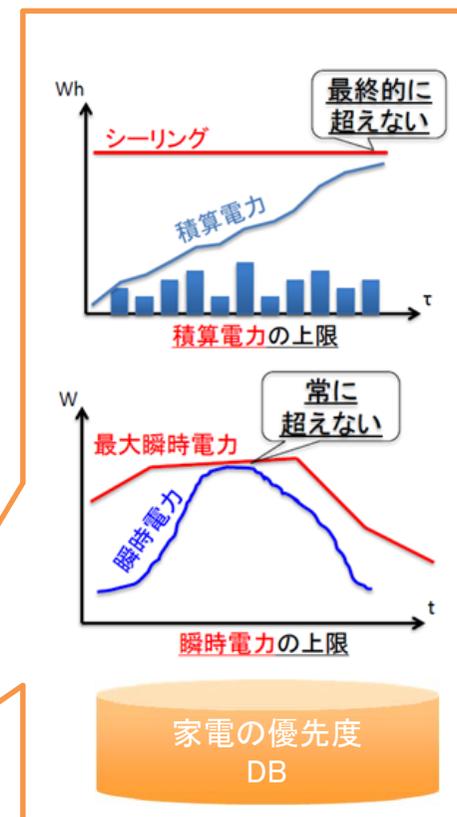
3. 「所員(仲間)の増加」による付加価値成長



※当社では営業利益に人件費を加えた額を付加価値と定義し、各ステークホルダーへの分配可能原資を表しています。

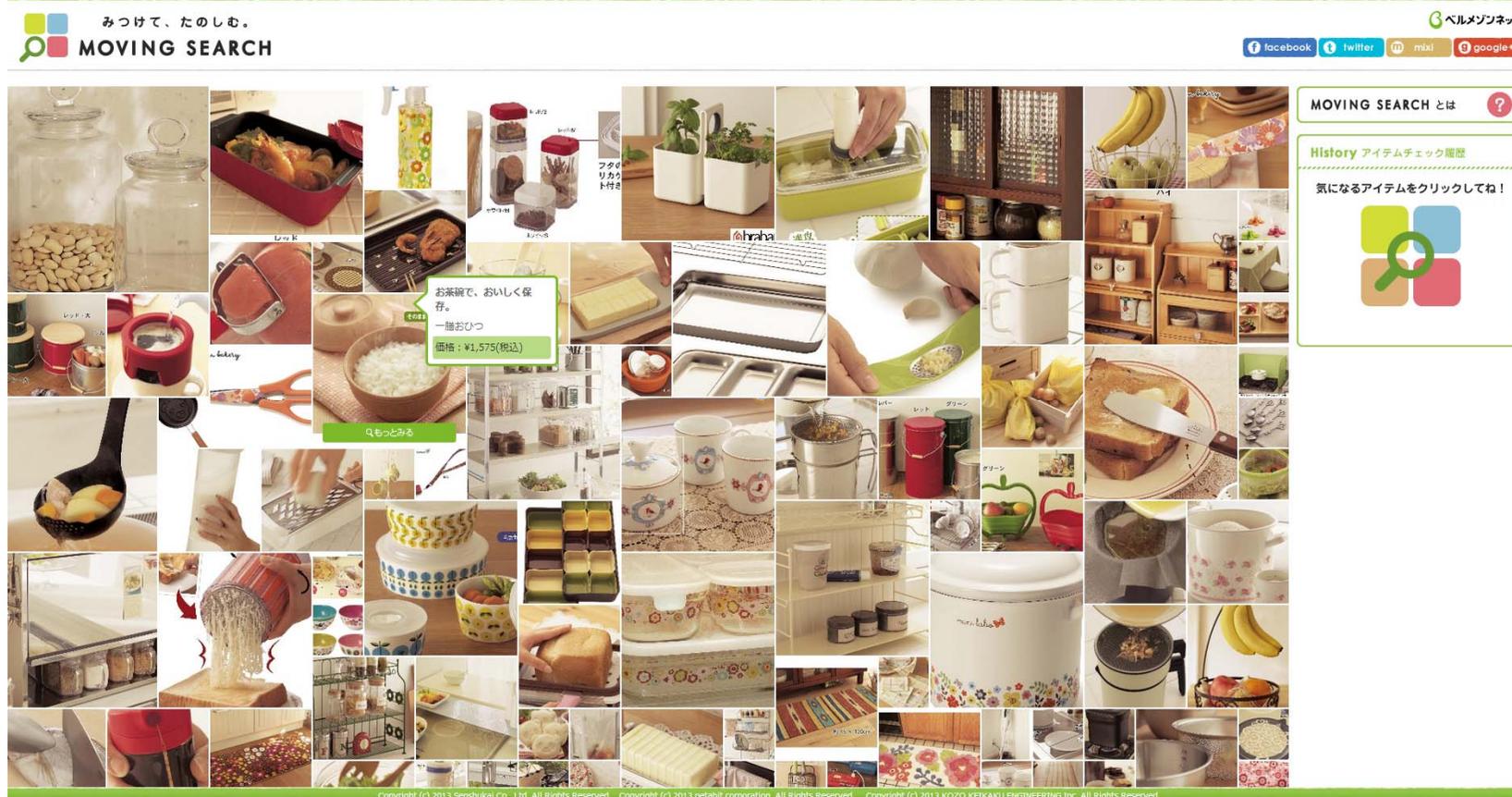
Energy on Demand システムの開発

個々の家電の優先順位を制御し、節電と快適性をトータルで実現



QoL評価に基づき決定

レコメンド技術を活用したビジネスの展開 ビジュアルナビレコメンド



ベルメゾン ムービングサーチ

「事業開拓投資」による付加価値成長③

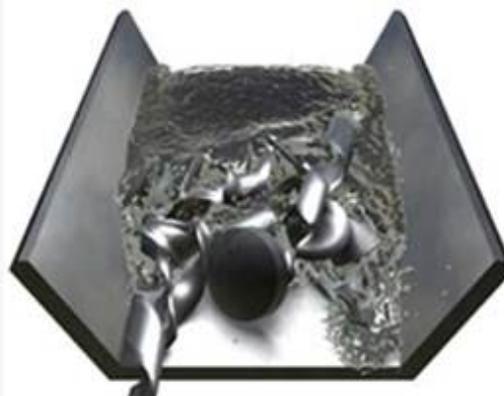
- 2012年10月29日 資本・業務提携
 - 会社名 プロメテック・ソフトウェア株式会社
 - 設立 2004年10月29日
- 人事交流を含む広範な提携シナジーの創出へ
 - 新規顧客の獲得 製薬、化粧品メーカーなど
 - 当社が従来より展開する防災関連ビジネスへの応用

統合型粒子法流体解析ソフトParticleworks v4.0

- 世界初の粒子法(MPS法)を採用した初の商用流体解析ソフトウェア
- 従来手法(メッシュ法)では解けない難しい物理現象が解ける



液体と固体の混合解析

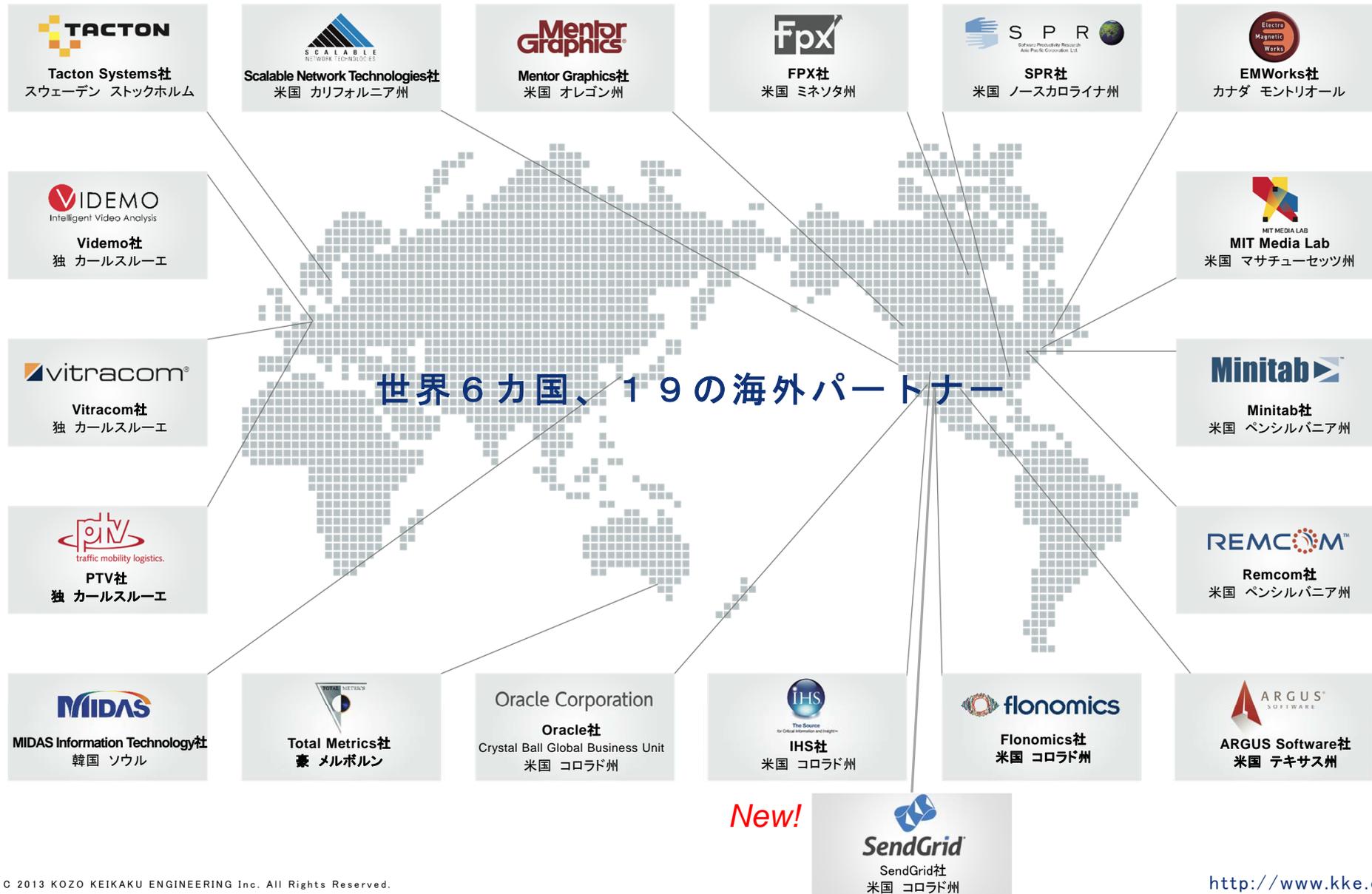


土石流の解析

粒子法が得意とする現象
自由表面流れ
碎波
攪拌流れ
混練流れ
粉体流れ
流体-剛体連成流れ

「事業開拓投資」による付加価値成長④

海外パートナー連携によるビジネスは当社売上の約15%に貢献



● 公益社団法人 化学工学会にて論文発表

論文 : 「MPS法による攪拌槽内の流れの数値解析と実験による比較・検証」

発表内容 : 粒子法を用いて、攪拌流れの解析を行い、流れの様子を可視化。過去に例がない攪拌機タイプ

発表者 : 株式会社構造計画研究所 SBD営業部 山田剛史、株式会社資生堂 田中彩様

● 東京大学ものづくり経営研究センターにおける活動

□ シンポジウム「ITとものづくりー人工物の複雑化とメカ・エレキ・ソフトの制御関係」にて発表

タイトル : 「複雑化する社会システムのIT制御」

発表者 : 株式会社構造計画研究所 代表取締役CEO 服部正太

□ 第103回コンソーシアム定例会議にて発表

タイトル : ITを活用した商品企画のあり方

発表者 : 株式会社構造計画研究所 常務執行役員 木村香代子

高橋治 技師長 品質保証センター副センター長

● 社外委員活動

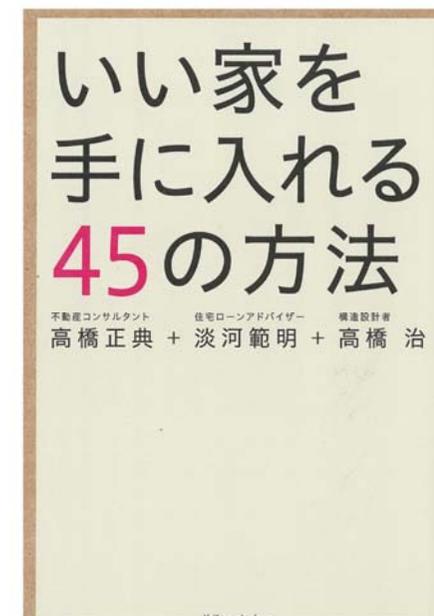
- 日本建築学会 構造委員会・振動運営委員会
- 日本免震構造協会 技術委員会
- 日本建築構造技術者協会 応答制御部会
- 日本免震構造協会 技術委員会 など多数

● 執筆「いい家を手に入れる45の方法」(2013年1月25日)

- 高橋正典氏 淡河範明氏と共著(エクスナレッジ社)

● 発表論文

- 日本建築学会大会論文 8本(共同執筆含) など



NHK TOMORROW取材
(2013年4月27日)

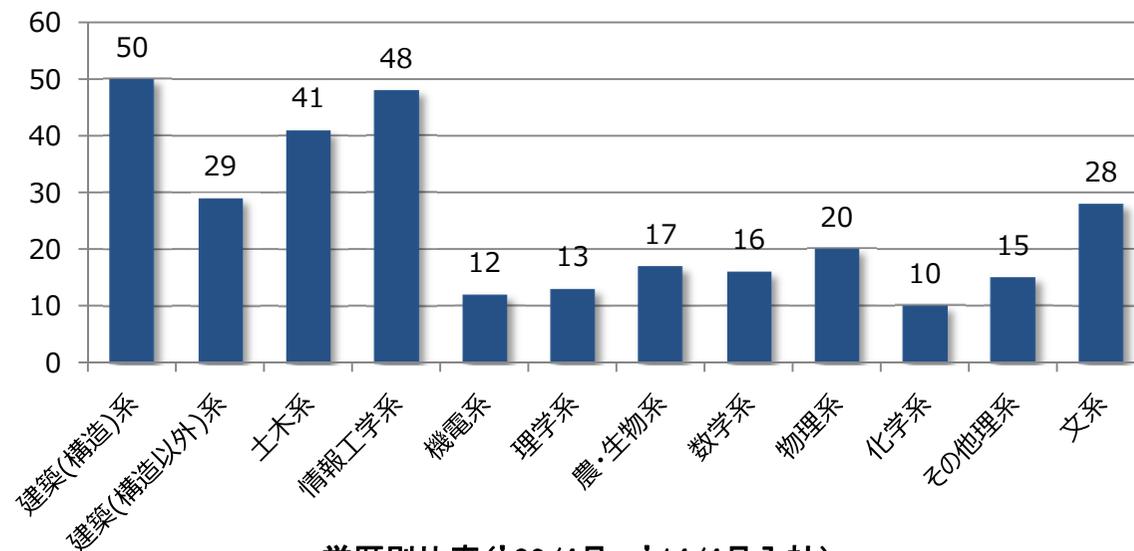


「所員の増加」による付加価値成長①

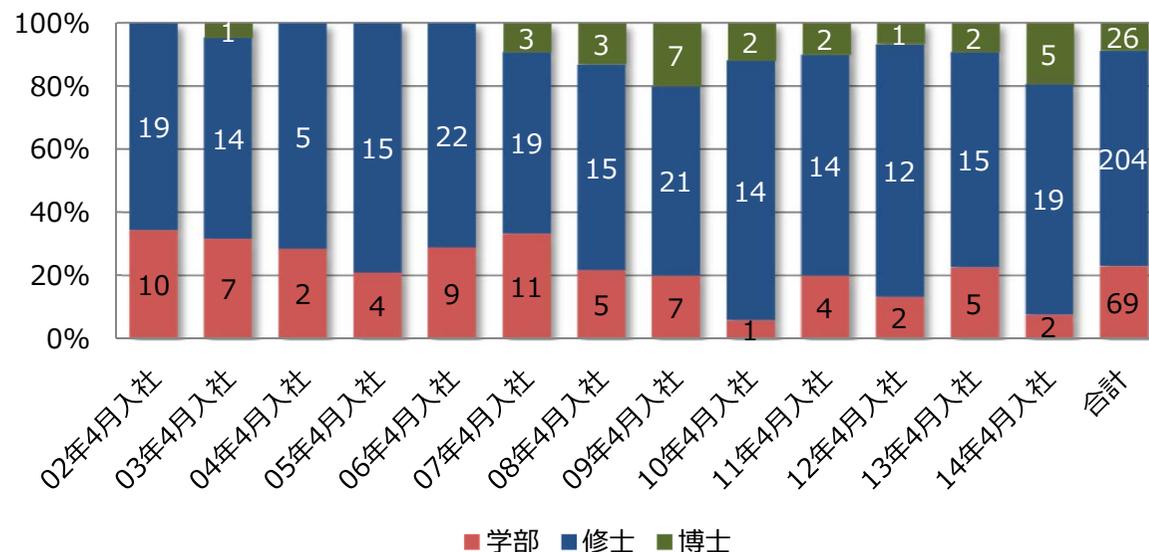
出身校上位20校 ('02/4月～'14/4月入社)	人数
東京工業大学	28
京都大学	20
東京大学	18
九州大学	18
早稲田大学	16
熊本大学	10
東京理科大学	10
筑波大学	9
慶應義塾大学	8
大阪大学	7
名古屋大学	6
東京農工大学	6
首都大学東京(※1)	6
横浜国立大学	5
埼玉大学	5
中央大学	5
法政大学	5
日本大学	5
東北大学	4
北陸先端科学技術大学院大学	4
豊橋技術科学大学	4
佐賀大学	4
上智大学	4
同志社大学	4
立命館大学	4

※1 東京都立大学、東京都立科学技術大学 合計
 ※2 全て内定者を含む

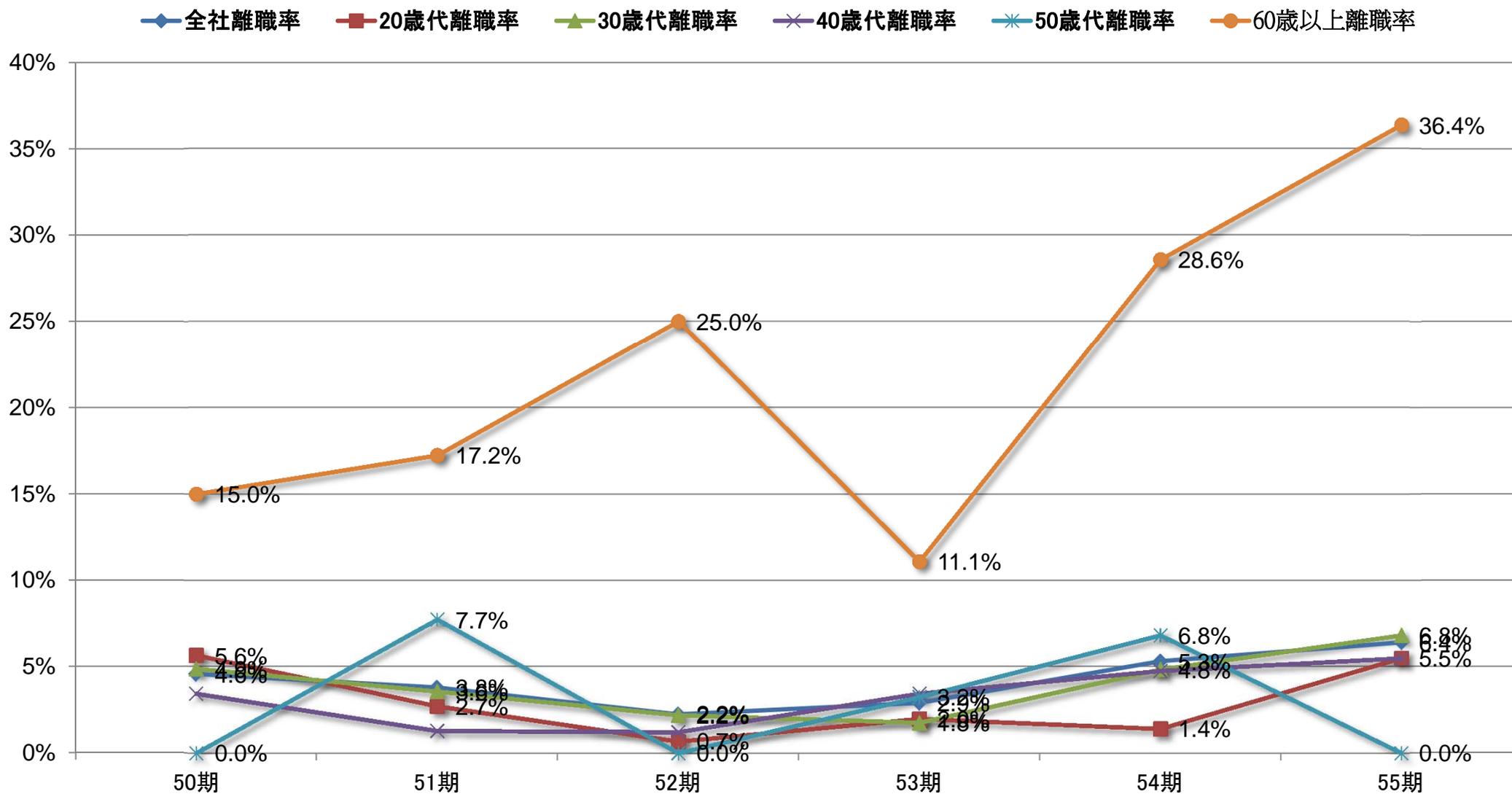
出身専攻系統('02/4月～'14/4月入社)



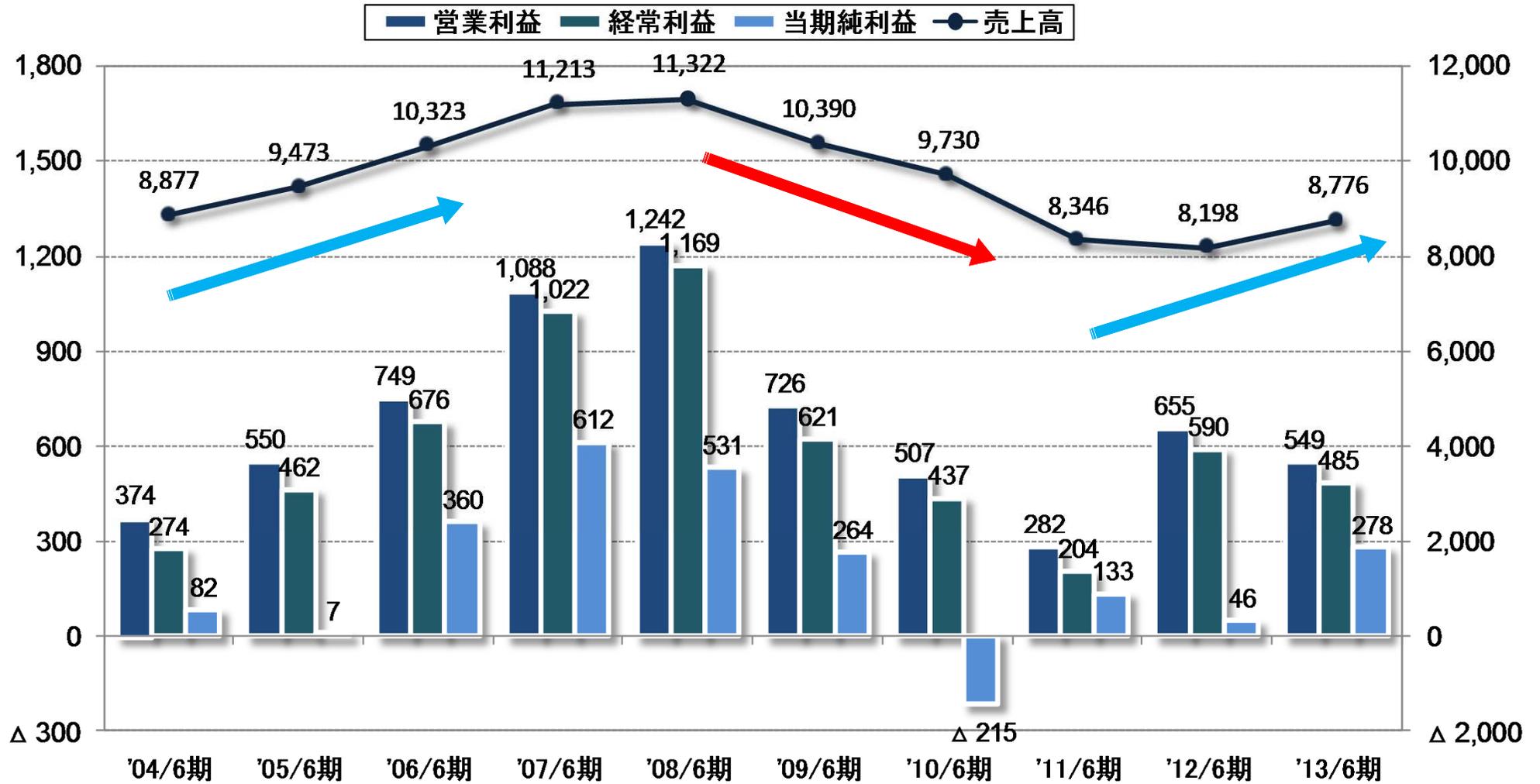
学歴別比率('02/4月～'14/4月入社)



「所員の増加」による付加価値成長②



過去の業績推移





5

事業TOPICS



技術コンサルティング企業として

- ・ 技術課題のパーツ提供から統合システム発想
- ・ 過去の失敗を含めた豊富なエンジニアリング経験

時代のニーズを先取りした先端ソリューション・サービスの提供

- ・ 安全・安心ソリューション 予防・復旧・復興をトータルに支援
- ・ スマートビジネス スマートハウス、スマートシティ、スマートモビリティ
- ・ 合意形成ビジネス 複雑な社会の課題解決を様々なアプローチから支援

世界に売れるモノ、コト、サービスを実現するために

- ・ 日本企業の海外展開を支援するソリューションの提供
- ・ デザイン、マーケティング、商品・サービス企画の発想



星 岳雄氏

■ 開催概要

日時: 2013年10月17日(木)、18日(金)

場所: ヒルトン東京(西新宿)

■ 基調講演(2日目)

米国スタンフォード大学ビジネススクール教授、
UnionBank of California 社外取締役

星 岳雄氏(経済学博士)

共著 『何が日本の経済成長を止めたのか』

『日本金融システム進化論』にて日経経済図書賞受賞

1日目: テクニカル・セッション

維持管理、環境・エネルギー、構造、設計、生産、
通信、海外パートナー先からの講演 他

2日目: ゼネラル・セッション

イノベーション、減災 をテーマとした
各界第一人者の講演を予定



本日はお忙しい中お越しいただき
誠にありがとうございました

今後とも何卒よろしくお願い致します

【お問い合わせ先】

株式会社構造計画研究所

法務部(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1141

F A X : 03-5342-1241

E-MAIL : ir@kke.co.jp

H. P. : <http://www.kke.co.jp>